

神戸西防災通信

令和 7 年 10 月

神戸西警察署警備課

防災意識の高揚～津波災害に備えて①～

11月5日は「津波防災の日」「世界津波の日」です。

平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓として、津波対策を総合的かつ効果的に推進するため、同年6月に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、津波対策に関する観測体制の強化などを規定するとともに、11月5日を「津波防災の日」と決めました。

また、平成27年12月に開催された第70回国連総会本会議でも「世界津波の日」として採択されました。

11月5日の「津波防災の日」には、津波対策について国民の理解と関心を高めるために、全国各地で防災訓練の実施やシンポジウム等を開催しています。

「津波防災の日」の由来

安政元年（1854年）11月5日の安政南海地震（M8.4）で和歌山県を津波が襲った際に、稲に火を付けて、暗闇の中で逃げ遅れていた人々を高台に避難させて命を救った「稲むらの火」の逸話にちなんだ日が由来となっています。

津波警報・注意報の分類

【気象庁資料参照】

種類	予想される津波の高さ		想定される被害	とるべき行動
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の場合の 津波の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！ 
津波注意報	1m 20cm<高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。	海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。 

- ※ 予想される津波の高さは、通常は5段階の数値で発表されますが、地震のマグニチュードが8を超えるような巨大地震に対しては、精度のよい地震の規模をすぐに求めることができないため、その海域における最大の津波想定等をもとに津波警報・注意報を発表します。その場合、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表して、非常事態であることを伝えます。
- ※ 震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ※ 津波は長い時間繰り返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。

参考情報

気象情報や地域の防災情報が入手できるひょうご防災ネット（スマートフォン用アプリ）

※ 「App store」「Google Play」で「ひょうご防災」を検索。 ※ 二次元バーコード

iOS



Android

